

平成 27 年度版

米原市環境報告書



米原市

目次

第1章 環境の現状

- 1 水質.....p. 1
- 2 廃棄物.....p.11
 - 1)米原市のごみ処理量実績.....p.11
 - 2)米原市コンポストセンター.....p.13

第2章 米原市の環境施策の取組状況

- 1 環境基本計画重点プロジェクト取組状況.....p.14
- 2 米原市環境基本計画および実施計画の取組実績一覧.....p.18
- 3 米原市役所地球温暖化対策率先実行計画の取組状況.....p.20

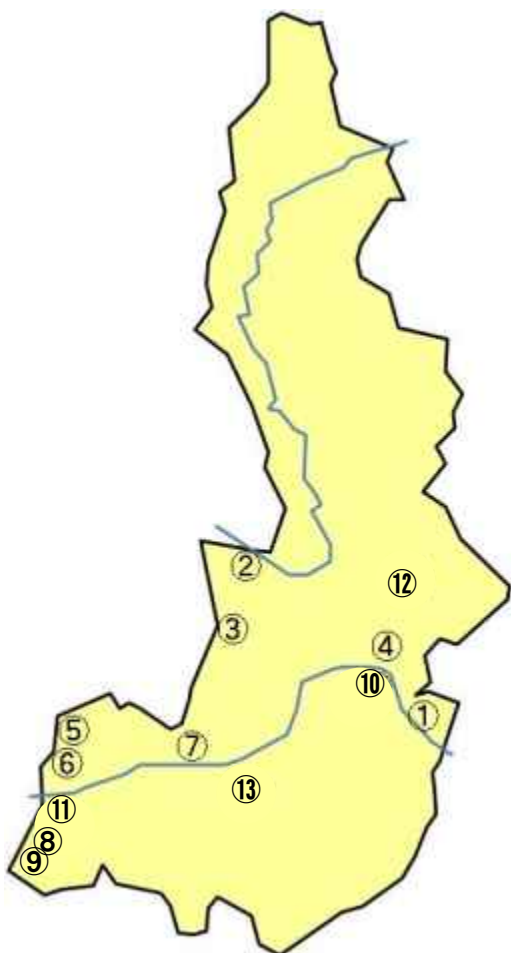
第1章 環境の現状

1 水質

米原市は、豊かな森や山に蓄えられた水が市内のいたるところで湧き出し、姉川や天野川などの清流となって琵琶湖へと注ぐ水源の里です。滋賀県で唯一「名水百選」と「平成の名水百選」の両方が存在し、さらには、「水の郷百選」にも選ばれた水をめぐる歴史と文化に育まれたまちです。

この美しい水環境を保全するため、市では毎年水質調査を実施しており、有害な物質の検出はありません。高い数値を示している大腸菌群数は、し尿汚染の指標として用いられ、一般に人畜の腸管内にも常時存在し、動物の糞便由来以外に、土壌・植物等自然界に由来するものも多くあります。大腸菌群そのものが直ちに衛生上有害というわけではありませんが、数値の動向に注視していく必要があります。

水質調査の実施状況



(年1回)

- 地下水水質調査 29箇所
- 河川水質調査 13箇所
- 湧水調査 16箇所
- 土壌調査 6箇所

※河川水質調査の天野川については年2回×2か所実施
※年度により、調査か所数に変動があります。上記は平成27年度の調査か所数です。

- ①政所川
- ②出川
- ③黒田川
- ④真経堂川
- ⑤土川
- ⑥琵琶田川
- ⑦長老墓地川
- ⑧承水溝
- ⑨磯川
- ⑩天野川上流
- ⑪天野川下流
- ⑫泉神社湧水
- ⑬居醒の清水(湧水)

① 政所川	単位	H18	H21	H24	H25	H26	H27	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—	7.2	7.0	7.3	7.6	7.5	7.7	6.5～ 8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.8	0.7	0.6	0.7	1.1	1.1	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	2.3	1.8	1.0	1.7	2.8	1.5	—
浮遊物質(SS)	mg/L	3	1	1 未満	2	1 未満	1 未満	25
ルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	35000	4900	3500	680	110	13000	50
ガドリウム及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	—



② 出川	単位	H18	H21	H24	H25	H26	H27	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—	8.4	8.7	8.0	8.5	8.0	8.0	6.5～ 8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.8	1.1	0.8	1.0	0.6	1.0	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	2.3	2.3	7.0	2.8	2.0	1.8	—
浮遊物質(SS)	mg/L	6	7	5	5	1 未満	2	25
ルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	16000	1700	720	270	490	2200	50
ガドリウム及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	—

③ 黒田川	単位	H18	H21	H24	H25	H26	H27	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—	7.6	7.7	7.8	7.9	7.7	7.8	6.5～ 8.5
生物学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.9	0.8	0.8	0.9	0.5 未満	0.9	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	1.5	2.2	1.7	2.8	1.9	2.3	—
浮遊物質(SS)	mg/L	4	2	2	2	1 未満	2	25
ルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	92,000	3,300	9200	1400	78	1100	50
ガミウム及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	—



黒田川



真経堂川

④ 真経堂川	単位	H18	H21	H24	H25	H26	H27	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—	7.7	8.2	8.4	7.9	7.6	7.5	6.5～ 8.5
生物学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.7	1.1	1.1	1.0	0.5 未満	1.1	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	1.9	3.0	2.4	3.7	2.4	3.0	—
浮遊物質(SS)	mg/L	3	5	1 未満	1	1 未満	5	25
ルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	9200	4900	3500	113.3	45	26000	50
ガミウム及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	—

⑤ 土川	単位	H18	H21	H24	H25	H26	H27	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—	7.7	8.2	8.0	8.3	7.6	7.7	6.5～ 8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.9	1.1	1.1	1.1	1.4	3.1	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	3.2	3.0	3.1	4.1	3.2	1.1	—
浮遊物質(SS)	mg/L	5	3	2	2	2.3	4	25
ルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	17000	490	430	1400	490	11000	50
がミウム及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	—



土川



琵琶田川

⑥ 琵琶田川	単位	H18	H21	H24	H25	H26	H27	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—	7.7	8.3	7.9	7.9	7.5	7.6	6.5～ 8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.8	0.8	0.8	0.9	0.7	1.4	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	2.3	2.0	1.9	3.0	2.4	3.1	—
浮遊物質(SS)	mg/L	7	2	5	4	1.1	4	25
ルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	24000	700	3500	1700	270	2600	50
がミウム及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	—

⑦ 長老墓地川	単位	H18	H21	H24	H25	H26	H27	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—	7.9	8.6	8.0	8.4	7.8	7.9	6.5～ 8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	1.3	1.0	0.9	0.9	1.1	0.8	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	2.9	2.7	2.2	3.9	2.6	3.1	—
浮遊物質質量(SS)	mg/L	7	3	6	9	1.1	2	25
ルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	92000	2300	5400	2700	230	4900	50
ガミウム及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	—



長老墓地川



承水溝

⑧ 承水溝	単位	H18	H21	H24	H25	H26	H27	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—		7.6	8.1	7.8	7.5	7.5	6.5～ 8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L		3.9	4.1	3.7	3.2	2.1	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L		8.6	5.5	7.7	7.6	5.7	—
浮遊物質質量(SS)	mg/L		4	14	16	4.6	6	25
ルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L		0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL		460	5400	7000	270	26000	50
ガミウム及びその化合物	mg/L		0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L		0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L		0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L		0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L		0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
亜鉛含有量	mg/L		0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
全窒素	mg/L			0.42	1.3	1.7	1.0	—
全燐	mg/L			0.06	0.14	0.090	0.082	—
クロロフィル a	mg/L		6.2	0.065	24	5.5	2.4	—

⑨ 磯川	単位	H18	H21	H24	H25	H26	H27	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—		7.3	7.9	7.6	7.7	7.7	6.5～ 8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L		1.2	2.1	2.3	1.2	2.3	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L		6.7	6.4	9.4	5.4	5.9	—
浮遊物質(SS)	mg/L		2	7	15	2.0	7	25
ルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L		0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL		310	16000 以上	14000	220	1400	50
カドミウム及びその化合物	mg/L		0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L		0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L		0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L		0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L		0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
亜鉛含有量	mg/L		0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
全窒素	mg/L			0.55	1.4	0.92	1.0	—
全燐	mg/L			0.05 未満	0.15	0.054	0.11	—
クロロフィル a	mg/L		2.0 未満	0.040	7.8	2.6	3.6	—



磯川



天野川上流

⑩ 天野川上流	単位	H18	H21	H24	H25	H26	H27	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—	7.7	7.8	8.0	8.0	8.1	7.9	6.5～ 8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.6	1.8	0.9	1.0	0.7	1.3	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	2.0	3.6	2.7	2.9	2.7	3.1	—
浮遊物質(SS)	mg/L	3	4	2	1 未満	2	1	25
ルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	0.7	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	9200	3300	5400	1400	140	1700	50
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.02	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	—

① 天野川下流	単位	H18	H21	H24	H25	H26	H27	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—	8.5	7.9	8.4	8.3	8.2	8.0	6.5～ 8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.6	1.8	1.1	1.0	0.7	0.7	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	1.7	2.8	1.4	2.5	1.7	1.7	—
浮遊物質(SS)	mg/L	1 未満	3	2	1	1 未満	6	25
ルマルヘキサノ抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	9200	490	45	2700	270	1100	50
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.0	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	—



天野川下流

※承水溝、磯川は平成 21 年度から実施しています。

※平成 19 年、20 年、22 年、23 年の数値は省略しています。平成 26 年度版以前の環境報告書をご覧ください。

※環境基準は、環境基本法に基づき、水質汚濁に係る行政目標として、人の健康の保護および生活環境の保全を図る上で維持することが望ましい基準として定められています。

※水質汚濁に係る環境基準の水域類型として指定されている河川は、米原市内では、天野川のみ（類型：AA）です。天野川以外の河川については、参考基準となります。

※水質調査は 12 月に実施しています。

（天野川は 12 月と 2 月に実施しており、数値の高い方を掲載しています。）

※カドミウム及びその化合物の基準は、平成 23 年 10 月に「0.01」から「0.003」に変更になりました。

⑫ 泉神社湧水	単位	H18	H21	H24	H25	H26	H27	飲用基準
水素イオン濃度(pH)	—	7.8	7.9	8.0	8.2	7.8	7.9	5.8~8.6
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.5 未満	0.7	0.8	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	0.5 未満	0.5 未満	0.2 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
浮遊物質(SS)	mg/L	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	—
ホルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL	検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.01 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.001 未満	0.005 未満	0.2 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.005 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
水銀及びその化合物	mg/L	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005
砒素及びその化合物	mg/L	0.001 未満	0.005 未満	0.01 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	1
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	1
全りん (T-P)	mg/L	0.019	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	—
全窒素 (T-N)	mg/L	0.91	0.9	0.83	0.78	0.67	0.92	—
有機りん化合物	mg/L	不検出	0.1 未満	0.05 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.05 未満	—
シアン化合物	mg/L	0.001 未満	不検出	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01
PCB	mg/L	0.0005 未満	不検出	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	—
塩化物イオン	mg/L	4.0	5.0	5.2	6.1	5.1	4.0	200
一般細菌数	個/mL	2.0	不検出	0	2.0	4.0	0	100
色度	度	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	1 未満	1 未満	1 未満	5
濁度	度	0.5 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	2
臭気	—	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
味	—	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
硝酸性及び亜硝酸性窒素	mg/L	1	0.9	0.9	0.63	0.8	0.69	10
TOC (全有機炭素)	mg/L	0.5 未満	0.5 未満	0.3 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	3

⑬ 居醒の清水 (湧水)	単位	H18	H21	H24	H25	H26	H27	飲用基準
水素イオン濃度 (pH)	—		7.8	7.9	8.1	7.9	8.0	5.8~8.6
生物化学的酸素要 求量(BOD)	mg/L		0.8	1.0	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
化学的酸素要求量 (COD)	mg/L		0.5 未満	0.2	0.5	0.5 未満	0.5 未満	—
浮遊物質(SS)	mg/L		1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	—
ルマルヘキサン抽出物 質含有量	mg/L		0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	—
大腸菌群数	MPN/100mL		不検出	検出	不検出	検出(4)	不検出	不検出
カドミウム及びその化 合物	mg/L		0.001 未満	0.01 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L		0.005 未満	0.2 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L		0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
水銀及びその化合物	mg/L		0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005
砒素及びその化合物	mg/L		0.005 未満	0.01 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L		0.1 未満	0.01	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	1
亜鉛含有量	mg/L		0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	1
全りん (T-P)	mg/L		0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	—
全窒素 (T-N)	mg/L		1.3	1.1	1.1	0.9	1.1	—
有機りん化合物	mg/L		0.1 未満	0.05 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	—
シアン化合物	mg/L		不検出	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01
PCB	mg/L		不検出	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	—
塩化物イオン	mg/L		13.0	12.0	11.0	19	11	200
一般細菌数	個/mL		8.0	15.0	4	11	3	100
色度	度		0.5 未満	0.8	1 未満	1 未満	1 未満	5
濁度	度		0.2 未満	0.2 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	2
臭気	—		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
味	—		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
硝酸性及び亜硝酸 性窒素	mg/L		1.4	1.1	1.0	1.1	1.1	10
TOC (全有機炭素)	mg/L		0.5 未満	0.3 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	3

居醒の清水

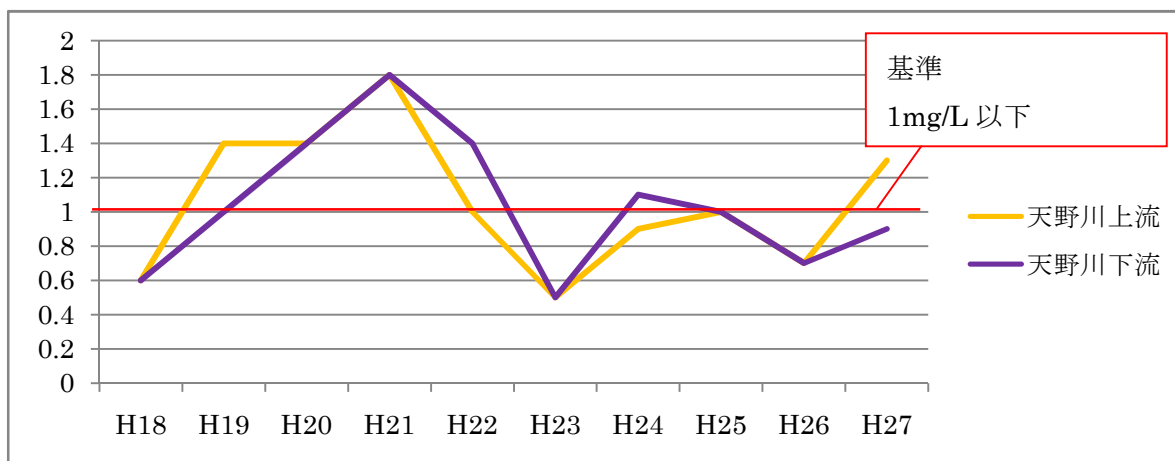
※居醒の清水は平成 20 年度から実施しています。
 ※湧水が飲用に適することを保証するものではありません。
 飲用として利用される場合は、煮沸されることを
 お勧めします。



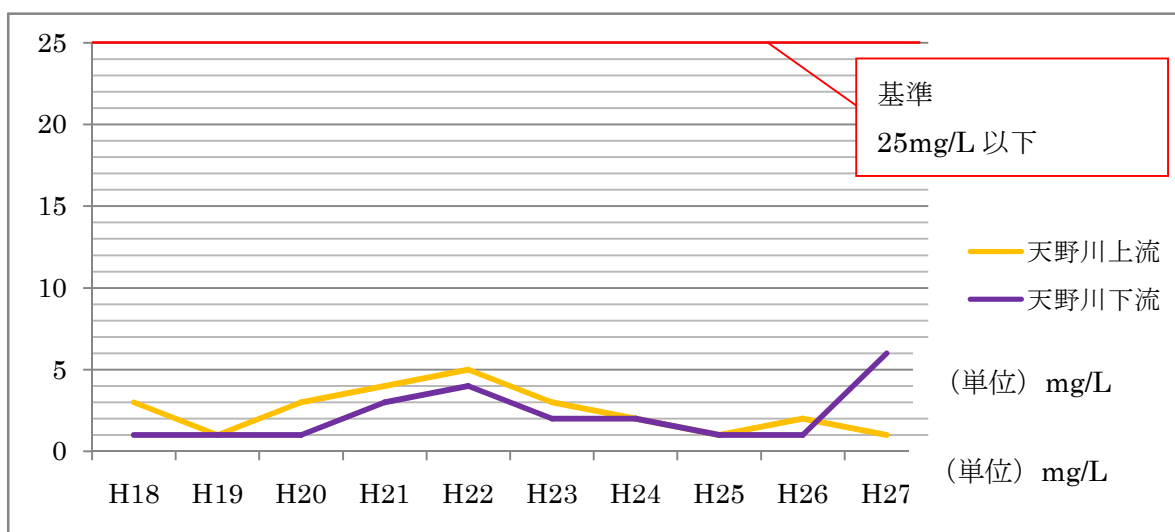
<平成 27 年度調査結果概要>

- 水質汚濁に係る環境基準の水域類型として指定されている天野川（類型：AA）の生物化学的酸素要求量(BOD)、浮遊物質(SS)は、おおむね現状維持もしくは微増（悪化）傾向で推移し、BODは天野川上流で環境基準値を超過しています。（流量等データは計測無し）
- 天野川の大腸菌群数は減少傾向にあります。依然として環境基準値を超過しています。その他の基準値を超過した数値、有害な物質はありませんでした。

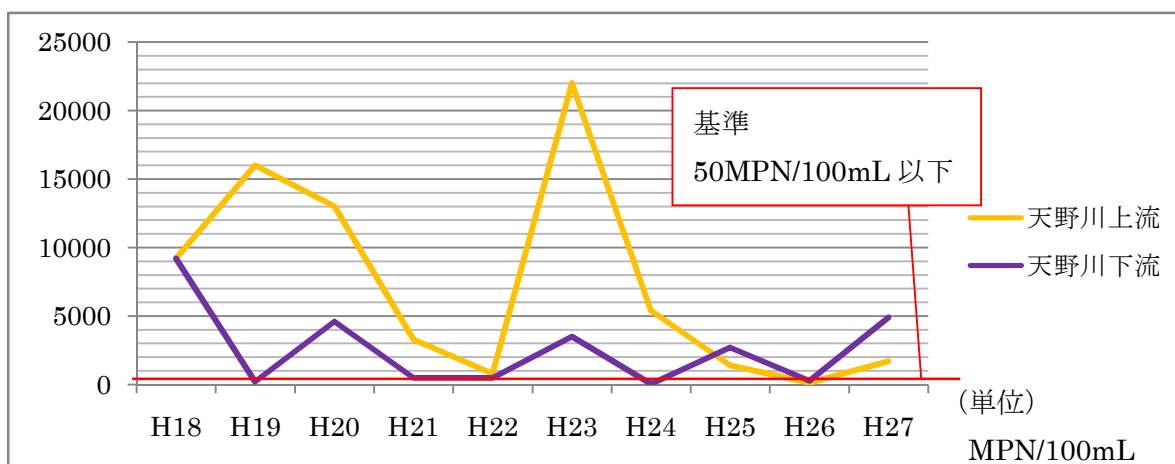
生物化学的酸素要求量(BOD)



浮遊物質(SS)



大腸菌群数



2 廃棄物

1) 米原市のごみ処理量実績

米原市から発生したごみは、湖北 2 市（米原市、長浜市）で構成される、湖北広域行政事務センターによって共同で処理されており、湖北広域行政事務センター一般廃棄物処理基本計画（平成 27 年 3 月）に沿って計画的な廃棄物処理が行われています。

現在、ごみ袋の有料化、14 種 18 品目の分別収集を実施しており、ごみの処理量は年々減少傾向にあります。

米原市のごみ処理量

単位:t

品目	H23	H24	H25	H26	H27
可燃ごみ	7,175	6,902	6,929	6,950	7,214
生ごみ※	192	178	188	157	139
不燃ごみ	959	734	767	683	649
粗大ごみ	523	516	473	401	442
資源ごみ	2,305	2,139	2,047	1,941	1,859
計	11,154	10,469	10,404	10,132	10,303

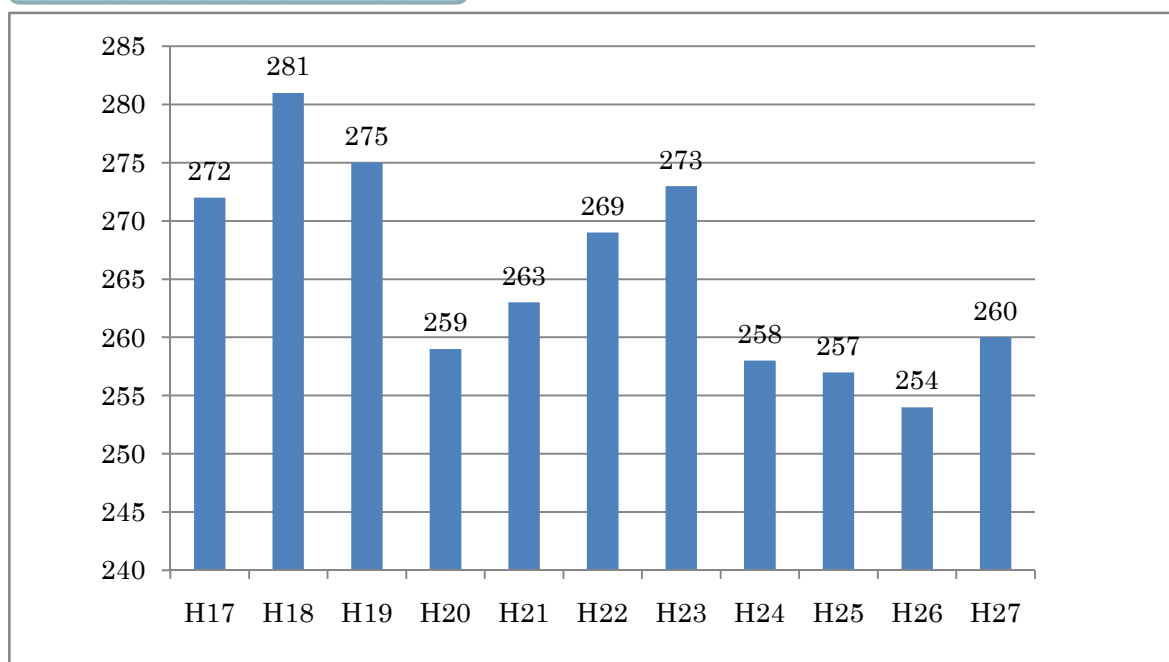
※生ごみは、伊吹地域のみ収集実績です。

湖北広域行政事務センター調べ

注：湖北広域行政事務センターが収集した分の集計です。

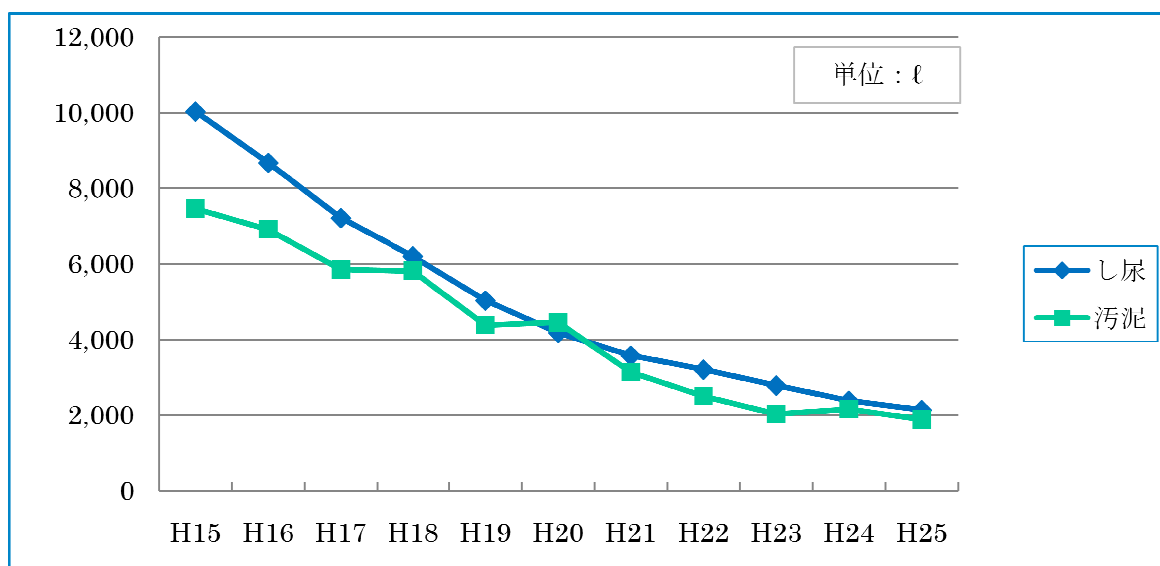
1人当たりの年間ごみ排出量

単位:t (トン)



湖北広域行政事務センター調べ

し尿・浄化槽汚泥収集量



湖北広域行政事務センター調べ (H25 まで)

2) 米原市コンポストセンター

米原市では、平成 19 年から生ごみや牛ふん、農業集落排水汚泥を再利用し、堆肥化する施設「米原市コンポストセンター」を運営しています。この施設は、脱焼却処理により温室効果ガスの発生を抑制するとともに、有機物を農地還元し、有機肥料で栽培された安全でおいしい農作物の市内流通により、資源循環型の社会の構築と市民の健康増進を目的とするものです。

施設の概要

【施設名称】米原市コンポストセンター

【施設愛称】コンポステーション息吹

【敷地面積】7,524 m²

【堆肥化方式】パレット式(自然発酵型)

【処理能力】4.5t/日

【堆肥化を行う有機質資源】(米原市伊吹地域を対象)

- 農業集落排水脱水汚泥
- 生ごみ
- 刈草・剪定枝
- 畜糞



堆肥「ゆめいぶき」

- ゆめいぶき1号…原料(生ごみ、牛ふん、もみ殻、米ぬか、刈草選定枝)
- ゆめいぶき2号…原料(農業集落排水汚泥、もみ殻、米ぬか、刈草選定枝)
- ゆめいぶき3号…原料(牛ふん、もみ殻、米ぬか、刈草選定枝)



【特長】

- 堆肥化に長時間かけた熟度の高い堆肥
- 発酵の過程で、65度以上の発酵温度となっていることを確認した衛生的な堆肥
- 堆肥 1gに数十億の豊富な微生物が存在する堆肥

利用資源量

項目		計画量	H18	H21	H24	H25	H26	H27	
搬入実績	廃棄物	生ごみ(t)	189.00	59.30	192.02	193.90	183.18	170.73	153.62
		牛ふん(t)	648.00	97.60	386.20	408.46	469.95	448.8	483.72
		農業集落排水汚泥(t)	972.00	35.00	819.89	823.20	830.18	862.53	816.31
		刈草・剪定枝(t)	20.80	0.60	9.53	2.88	4.88	3.96	4.15
		合計	1,829.80	192.50	961.54	1,428.4	1488.2	1486	1457.8
	有価物	籾殻(m ³)	—	800	368	416	255	240	375
米ぬか等(t)		—	10.87	76.00	71.19	93.06	92.99	78.68	
施設稼働率(%)			15.24	59.77	82.87	85.65	86.19	84.63	
堆肥販売量(kg)			0	111,037	75,422	82,544	67,536	113,235	

※平成 21 年度からは、新たにゆめいぶき3号の生産販売を開始。また、平成 22 年度からは、山東地域の農業集落排水汚泥を搬入

米原市コンポストセンターのあり方については、米原市コンポストセンター運営委員会において全 5 回にわたり審議・検討され、平成 27 年 3 月に答申書「米原市コンポストセンターの今後のあり方について(答申)」が米原市長に提出されました。

本市では、これを受けて、米原市コンポストセンターを廃止する方向で決定し、家庭用の生ごみ収集は平成 28 年 3 月を以て終了しました。

※コンポストセンター運営委員会の審議・検討内容は、詳しくは以下に掲載しています。
[市ウェブサイト:トップ<くらし<ごみ、環境<環境<米原市の環境への取組<米原市コンポストセンター運営委員会](#)

第2章 米原市の環境施策の取組状況

1 環境基本計画重点プロジェクト取組状況

米原市環境基本計画(計画年度:平成20年～平成29年)では、目指すべき環境像「ホテルが輝き 笑顔あふれる田舎都市 まいばら」の実現に向けて、環境を大きく4つの分野に分け、分野ごとに8つの重点プロジェクトを定めています。重点プロジェクトにはそれぞれ達成状況の目安となる指標を設けており、目標の達成に向け、取り組みを実施しています。

重点プロジェクト1 “安全で快適な田舎都市” 創造プロジェクト

指標	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	前年比	目標達成率	目標値 (H29)
水洗化率(%)	75.0	80.0	82.3	84.3	86.0	87.2	89.2	90.3	91.2	↑	A(100%)	90.0

<指標および取組の解説>

水洗化率は、伸びが鈍化しながらも順調に伸びているようにみえますが、分母となる行政区域内人口、処理区域内人口が減少していることが率の向上に寄与しています。汚水を浄化槽で処理している世帯については、浄化槽の設置初期投資費用が多額であること、維持管理は伴いますが、下水道と同じように汚水を処理できることから、耐用年数を超えるまで切り替えが進んでいない状況です。

平成27年度は、未水洗化世帯および浄化槽世帯の下水道への切り替え促進の啓発活動として、広報まいばら掲載、CATVでの文字放送を行ったほか、未水洗化世帯への戸別訪問を行いました。

なお、切り替えを促進するための融資あっせん制度では、金融機関の要件審査において、高齢者や償還能力の低い低所得者が融資不可となり制度活用に至れない事例があることが課題に挙げられます。(上下水道課)



↑ 梓河内農業集落排水処理施設



↑ 公共下水道 寺倉真空ステーション

重点プロジェクト2 “ホテルが輝き続ける豊かな田舎都市” 創造プロジェクト

指標	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	前年 比	目標達 成率	目標値 (H29)
自然案内人の数(伊吹山で活動するガイドの数)(人)	20	23	31	21	25	26	27	28	24	↓	B (80% 超)	30
環境こだわり農産物認証面積(ha)	137.8	170.6	178	272.1	296.9	296.9	255.8	241	265.5	↑	B (80% 超)	281
地場農産物を取り入れた学校給食システム(地場産物の使用割合)(%)	11.8	19.5	22.4	26.6	32.1	32.0	31.9	36.7	34.4	↓	B (80% 超)	35.0

< 指標および取組の解説 >

本市では、市民講師(まなびサポーター)を含む出前講座のメニューの充実や観光ボランティアガイド協会への補助を実施し、自然観察の促進や、地域における自然保護リーダーの育成に取り組んでいます(生涯学習課、商工観光課)。

環境こだわり農業、環境保全型農業は、制度の活用や環境こだわり農産物について周知・PRを継続しており、市内各地の農業者に徐々に定着しつつあります。平成27年度は、環境保全型農業直接支払交付金が法制化され、書類手続きが原則団体単位となり、個人の事務処理が軽減されたため、中規模農家の取組みが増加し、面積増加につながったと思われます。(農政課)。

学校給食では、地産地消を重視してJAレーク伊吹と優先的に農産物を購入するための協定を締結しており、市内全小中学校での地場農産物の提供を達成しています。米原市コンポストセンター廃止に伴い、生ごみ処理機を導入して適正な処理と廃棄物の削減を図ります(学校給食課)。

また、ビワマス遡上数調査など、地域主導、市民が主役の環境保全活動をサポートし、人と自然の関わりを支援しています(環境保全課)。

米原市ビワマス倶楽部の活動風景 →



重点プロジェクト3 “^わ環のしくみが備わった田舎都市” 創造プロジェクト

指標	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	前年比	目標達成率	目標値 (H29)
温室効果ガス排出量の少ない車の導入(公用車累計)(台)	12	6(18)	12 (30)	3 (33)	5 (38)	5 (43)	2 (53)	11(60) ※12 台中 11台	16(68) ※17 台中 16台	↑	B (80%超)	80
廃食用油の再資源化(廃食用油回収量)(ℓ)	-	-	185.0	573.0	922.0	802.5	774.5	809.1	610.0	↓	C (80%超)	900.0

< 指標および取組の解説 >

公用車については、公用車更新基準を定め計画的に更新を行っており、更新時にはハイブリット車や低燃費車など、エネルギー効率のよい車を積極的に導入しています。平成 27 年度は購入台数 17 台中 1 台を除く 16 台で低公害車を導入しました(管財課)。

廃食用油は平成 22 年度から市役所各庁舎で市民の持ち込みによる拠点回収を開始し、順調に回収されていましたが、回収量は減少しています。導入当初と比べて、広報の機会が減少していることが原因の一つと推測されます。回収された廃食用油は、BDF(バイオディーゼル燃料)に精製し、本市公用車(汚泥運搬車両)の燃料として使用しています(環境保全課)。

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災は、人間の活動が自然に与える甚大な影響を及ぼすこととなり、安全で自立分散型のエネルギー社会を構築することが急務となっています。本市では、平成 26 年度に「米原市公共建築物等における地域産木材の利用方針」、「米原市再生可能エネルギー利活用方針」を策定し、湖北・米原の地域の特色を活かした省資源・循環型のエネルギー社会の構築に取り組んでいます。

また、平成 25 年 4 月から市役所地球温暖化対策率先実行計画の運用を開始しており、市役所の業務から排出される温室効果ガスの把握・削減を図るとともに、地域社会の中で率先して省エネ・省資源を進めています。実行計画の取組状況の詳細は、24 ページ、25 ページに掲載しています。

重点プロジェクト4 “みんなで創る環境豊かな田舎都市” 創造プロジェクト

指標	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	前年比	目標達成率	目標値(H29)
環境リーダーの人数(環境美化推進員数)(人)	193	217	213	205	221	209	188	214	209	↓	B (80%超)	300
環境フォーラム参加者数(人)	284	181	151	229	184	145	908	300	500	↑	A(100%)	300

< 指標および取組の解説 >

地域に密着した環境保全活動の推進リーダー育成を図るため、1自治会当たり最大5名の環境美化推進員を推薦いただき、平成27年度は209名の方に就任いただきました。環境美化活動は、自治会独自の活動を日常的に実践されている自治会もあることから、指標としては把握をしていますが、米原市クリーン作戦(5月中心)、びわ湖を美しくする運動(7月中心)、県下一斉清掃(12月中心)の年3回、米原市一斉美化活動として自治会に呼びかけることで、全市的な環境美化の意識を醸成しています(環境保全課)。

市民実行委員会方式で開催している環境フォーラム(スローライフフェス)には、平成27年度は農林水産まつりと同時開催し、市内外から約500名が参加され、米原の水・人・自然のよさをPRする機会となりました。今後も、各主体が協働して環境問題に対する気づきを促す機会を創出します(環境保全課)。

米原市環境基本計画および実施計画の取組実績一覧 ②指標の推移

分野	環境目標	分野	指標	実績値							前年比較	目標達成率	目標値(H29)	担当部署名			
				H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25					H26	H27	
1 生活環境	安全で快適な田舎都市を育む	生活環境	水洗化率(%)	75.0	80.0	82.3	84.3	86.0	87.2	89.2	90.3	91.2	↑	A	90.0	上下水道課	
			水質調査結果(基準値以上のか所数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	→	B	0	環境保全課
			ふるさと川づくり事業委託契約数(自治会数)	65	61	63	63	63	62	62	62	62	62	→	A	62	建設課
			地下水・土壌調査結果(基準値以上のか所数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	→	A	0	環境保全課
			不法投棄・散在性ごみの回収量(t)		16.3	16.7	17.9	14.6	16.3	11.5	20.8	12.8	↑(少なくなるのが望ましい)	—	減少	環境保全課	
			環境美化監視員によるパトロール回数	324	317	292	302	325	346	316	321	288	↓	A	288以上	環境保全課	
		景観	文化的景観を活用した事業の実施(回)						2	6	5	5	→	B	7	歴史文化財保護課	
			「やすらぎ環境の整備」の満足度(%)						84.9	84.7	81.4	78.0	↓	B	78.6	都市計画課	
2 自然環境	ホテルが輝き続ける田舎都市を育む	森林保全・里地里山の活性化・グリーンツーリズム	市内森林での年間木材生産量(m³)						3,340	2,600	2,250	2,714	↑	C	6,000	林務課	
			水環境報告書「スローウォーターなぐらし」を活用した事業の実施(回)					水環境調査実施	3	5	5	1	↓	A	3	環境保全課	
			耕作放棄地面積(累計)(ha)		全筆調査	0.34	—	0.94	12.2	12.5	12.6	13.5	↓(少なくなるのが望ましい)	A	12.6	農政課	
			地場農産物を取り入れた学校給食システム(地場産物の使用割合)(%)	11.8	19.5	22.4	26.6	32.1	32.0	31.9	36.7	34.4	↓	B	35.0	学校給食課	
			自然案内人の数(伊吹山で活動するガイドの数)(人)	20	23	31	21	25	26	27	28	24	↓	B	30	商工観光課	
			市内の全集落を「水源の里」としていることを知っている市民の割合(%)			水源の里条例制定	31.2	37.6	39.9	41.6	38.1	37.9	↓	C	60.0	政策推進課	
			田んぼ稲作体験実施小学校数		11	12	12	11	10	9	9	9	→	A	9	農政課	
		農業	環境こだわり農産物認証面積(ha)	137.8	170.6	178	272.1	296.9	296.9	255.8	241	265.5	↑	B	281	農政課	
			自然保護	蛭保護条例による保護区域の認知度(%)				66.6	67.5	66.3	68.7	66.3	68.3	↑	B	80.0	環境保全課
				伊吹山地草原植物群落における低木類伐採面積(延べ面積)(ha)							1	1(2)	0(2)	0.5(2.5)	↑	—	5
天野川へのピワマスの遡上範囲(琵琶湖からの距離)(km)						2	4	4.4	6	6	→	B	7	環境保全課			
対策	対獣害	里山リニューアル面積(累計)(ha)	12.59	15.63(28.22)	15.56(43.78)	18.57(62.35)	20.7(83.05)	13.28(96.33)	15.53(111.86)	32(143.86)	41(184.86)	↑	B	150(H28)	林務課		

米原市環境基本計画および実施計画の取組実績一覧 ②指標の推移

分野	環境目標	分野	指標	実績値							前年比較	目標達成率	目標値(H29)	担当部署名		
				H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25					H26	H27
3 循環	“環”のしくみが備わった田舎都市を育む	地球温暖化対策・再エネ	温室効果ガス排出量の少ない車の導入(公用車累計)(台)	12	6(18)	12(30)	3(33)	5(38)	5(43)	2(53)	11(60) ※12台中11台	16(68) ※17台中16台	↑	B	80	管財課
			家庭用再生可能エネルギー利用設備導入件数(累計)						96	121(217)	86(207)	市補助事業は廃止	—	B	300	環境保全課
			市の公共施設におけるCO2総排出量(t)					2399.6	2364.6	2322.1	2380.7	2365.0	↑(少なくなるのが望ましい)	B	2255.6	環境保全課
			市役所における地球温暖化対策「部署別研修」実施率(%)					83	81	76	94	90	↓	B	100	環境保全課
		職員のノーマイカー実施率(%)				36.3	36.8	31.7	30.4	28.3	25.4	↓	C	50.0	環境保全課	
		ゴミの削減・コンポスト	家庭から出る資源ごみのリサイクル率(%)	30.0	28.0	28.5	27.8	27.3	26.5	25.9	25.3	24.2	↓	B	26.0	環境保全課
			堆肥生産量(t)	12.0	71.3	111.0	150.4	103.1	75.4	83.0	68.0	113.2	↑	B	100.0	環境保全課
			廃食用油の再資源化(廃食用油回収量)(t)			185.0	573.0	922.0	802.5	774.5	809.1	610.0	↓	C	900.0	環境保全課
4 ひと	みんなで美しい田舎都市を育む	教育環境	清掃等の環境活動を実施した単位子ども会数								55	50	↓	B	65	子育て支援課
			自然観察会への参加人数					96	124	150	53	73	↑	C	100	環境保全課
		環境学習・啓発	環境に関する出前講座のメニュー数(実施回数)	6(23)	6(43)	7(3)	6(7)	6(4)	6(6)	6(2)	9(11)	9(5)	→	B	12(10)	環境保全課
			カヌー体験事業の実施回数(参加者数)							13(341)	12(251)	9(189)	↓	C	20(500)	生涯学習課
			環境リーダーの人数(環境美化推進員数)(人)	193	217	213	205	221	209	188	214	209	↓	B	300	環境保全課
			ルッチ大学卒業生・現役生交流会の参加者数								40	33	↓	B	60	生涯学習課
			市民意識調査によるルッチ大学の認知度(%)								51.3	49.2	↓	B	60	生涯学習課
			環境フォーラム参加者数(人)	284	181	151	229	184	145	908	300	500	↑	A	300	環境保全課

…計画または実施計画に記載されている指標
 …計画にも実施計画にも記載されていない独自指標

● 目標達成率

A…取組が推進され、目的が100%達成されている。
 B…取組がある程度進んでおり、目的達成度は80%程度である。
 C…取組があまり進んでおらず、目的達成度は50%程度である。
 D…取組がほとんど進んでおらず、目的達成度は30%以下である。
 E…現状の変化により、取組を実施できなくなった。

米原市役所地球温暖化対策率先実行計画の概要

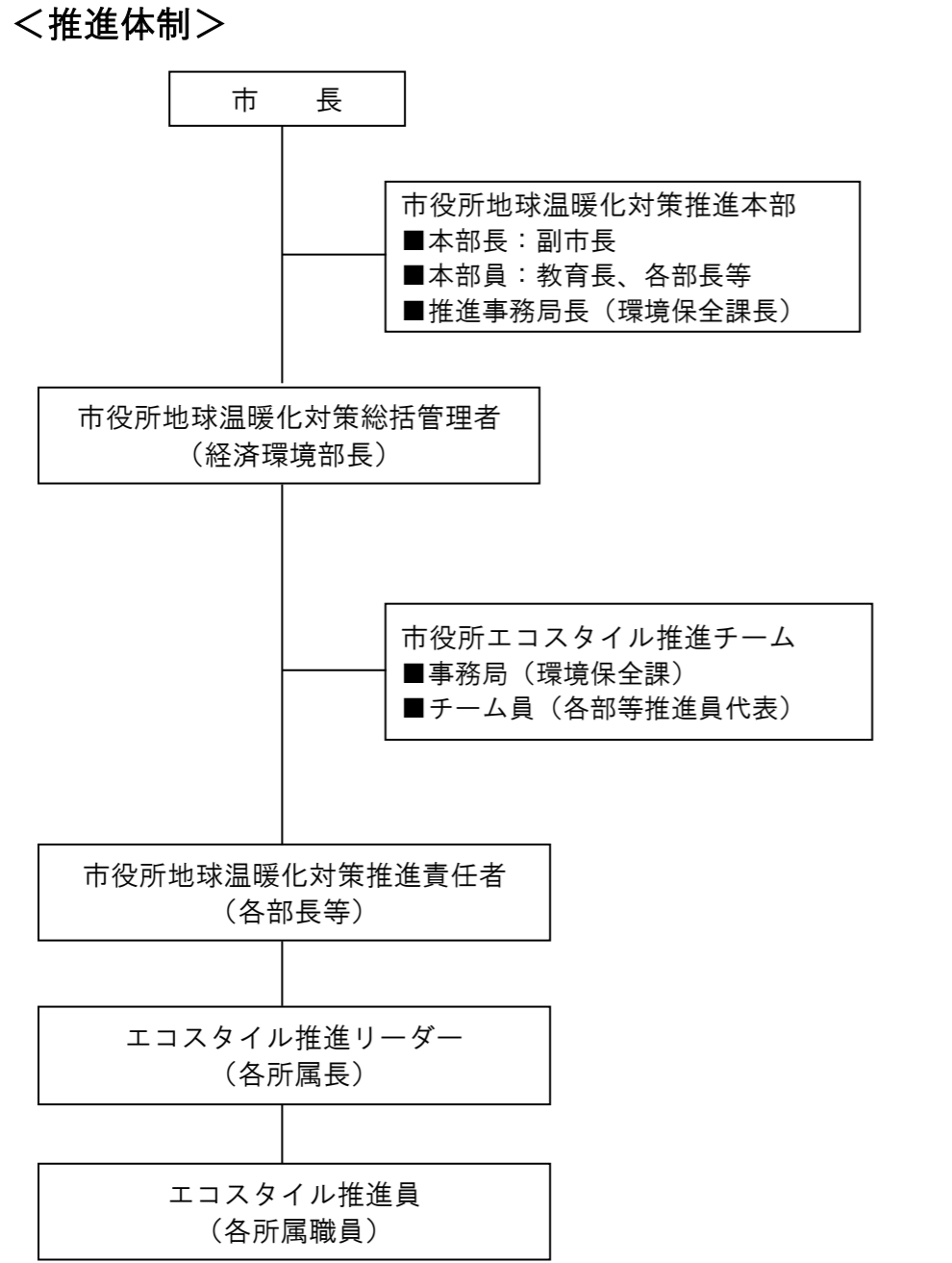
<目標>
平成29年度CO2排出量⇒平成23年度比 **マイナス 6%**

基準年度
(平成23年度)
2,399.6t-CO₂

⇒

目標年度
(平成29年度)
2,255.0t-CO₂

<対象施設>
市の全ての公共施設(※目標値対象施設は、指定管理者施設および水道施設を除く)



<省資源・省エネルギーに向けた取組項目>

- (1) 全部門共通の取組
- ア グリーン購入の推進
 - イ 公共事業等における環境負荷の低減
 - 環境負荷の低減に努めた計画設計
 - 環境に配慮した材料の使用等
 - ウ 既存施設における再生可能エネルギー設備の導入と省エネ改修の実施
 - エ イベントのエコ化の推進
 - 会場等の温度や照明の適正化、参加者等への環境配慮の紹介や協力の呼びかけ等
 - オ **環境配慮型の公共建築物の整備**
 - カ 公用車へのエコカーの導入
 - キ エコドライブの実践

- (2) 事務系部門における取組
- ア 公用車の燃料使用量削減に向けた取組
 - 出張時の公共交通機関利用、複数人が同一場所に移動する際の原則乗り
 - イ 冷暖房等の電力・燃料使用量削減に向けた取組
 - 執務室の温度管理徹底(夏28℃、冬19℃)
 - 各庁舎の冷暖房の運転時間は原則執務時間内とする
 - 夏期のクールビズ、冬期のウォームビズの実施
 - ウ 電気使用量削減に向けた取組
 - 原則始業前、昼休みなど必要時以外および日中の窓際は業務に支障のない限り消灯を実施
 - 半日単位での離席時はPCを原則オフにする。また、短時間離席・昼休み等はスタンバイモードの設定やフタ閉じを行う
 - エ その他エネルギー削減に向けた取組
 - ガスコンロ、給湯器などの効率的な使用
 - ノー残業デー、ノーマイカーデーの実施
 - オ 用紙類の使用量削減に向けた取組
 - 両面コピーや裏紙の有効活用、縮小機能の活用
 - 会議資料等の簡略化およびプロジェクト等の活用
 - ステープラの使用を極力控える
 - カ ごみの排出量削減に向けた取組
 - 3Rの推進
 - 事務所内のごみ箱を削減し、ごみ減量意識の醸成を図る
 - マイバッグ・マイ箸・マイ水筒の持参

- (3) 市民サービス系部門における取組
- 市民サービス系部門における事務部門や施設の共用部分については基本的には事務系部門に準じた取組を行う
- ※学校・幼稚園・保育所における取組
- ◇環境教育の推進
 - ◇環境に配慮した学校施設等の整備
- ⇒CO2削減チャレンジチェックシートにより、自身の実施状況を毎月自己評価する

<環境配慮型公共建築物整備のガイドライン>

- (1) 目的
公共施設の修繕・増改築・新築の際に配慮すべきことを明示し、建築物等の環境品質や環境性能の向上と、さらなる環境負荷の低減を図り、地域の自然環境と共生する持続可能な公共建築物等の整備を推進することを目指す。また、伊吹山や琵琶湖をはじめとする自然環境や気候特性、それらが育んできたまちなみや景観などの地域特性を生かした施設の創造を目的とする。
- (2) 重点取組項目
- ① 米原市の地域特性の活用
 - 街道や集落などのまちなみ、琵琶湖や伊吹山などの自然景観といった米原らしい景観との調和
 - 地域産の木材の積極的な活用
 - 降雪量や風向き等の気候特性への配慮や地域の植生にあった植栽等
 - ② LED照明の積極的な導入など照明エネルギーの最小化
 - ③ 断熱性の高い材料や工法の採用、庇や中高木の植栽等で日射を遮る工夫
 - ④ 太陽光発電設備の導入や自然通風、自然採光など自然エネルギーの活用
 - ⑤ 自然材料の使用
 - ⑥ 障がいをお持ちの方や高齢の方などに関わらず、誰もが利用しやすいユニバーサルデザイン
 - ⑦ 既存樹木等の保全・復元、敷地内緑化率の向上
 - ⑧ アスファルトやコンクリートの抑制、透水性舗装など地下水の涵養
- (3) 推進項目
- ① 米原市の地域特性の活用
 - 環境用水路やカマ、池をつくるなど自然の水の流れを取り入れたり、地下水の保全・涵(かん)養等「まいばらの水」の保全
 - 市民等が気軽に利用できる憩いスペースの提供や自転車利用者への利便性向上等地域や環境への貢献を配慮
 - ② 省エネ機器の導入、ゾーニング、水資源の有効活用等による省エネルギー
 - ③ エネルギー損失の低減を考慮した設備システム、無駄の少ない空調換気システムの採用による負荷の低減
 - ④ 再生可能エネルギー設備、木質バイオマスの利用推進等
 - ⑤ エコマテリアルの採用(低環境負荷材料、リサイクル・リユース資源等)
 - ⑥ 長寿命化
 - 将来の施設内部機能の変化に対応可能なフレキシビリティ確保
 - 非構造部材等の合理的耐久性や更新性を確保
 - 維持管理が効率的・効果的に実施できるようなスペースを確保
 - ⑦ 資材の適正使用・廃棄物の適正処理
 - ⑧ 周辺自然環境への配慮
 - 地形改変を抑制し、周辺自然環境への影響を最小限とする。
 - ビオトープの設置等生物の生息空間に配慮する。



平成27年市役所地球温暖化対策実行計画 エネルギー使用量およびCO2排出量比較表【平成27年1月～12月】

	①H23年(基準年)		②H25年		③H26年		④H27年		H26年との比較	基準年との比較		
		CO2排出量(t)		CO2排出量(t)		CO2排出量(t)		CO2排出量(t)			CO2増減量(t)	増減率
電気(kWh)	4,641,357.7	1,443.5	4,460,036.0	1,387.1	4,504,886.9	1,401.0	4,650,486.8	1,446.3	145,599.9	9,129.1	2.8	0.2%
LPG(m³)	25,709.1	169.7	23,647.1	156.1	28,139.0	185.7	36,932.4	243.8	8,793.3	11,223.3	74.1	43.7%
灯油(ℓ)	173,430.6	431.8	189,736.4	472.4	180,254.2	448.8	155,881.9	388.1	△ 24,372.3	△ 17,548.7	△ 43.7	-10.1%
ガソリン(ℓ)	58,537.8	135.8	60,096.1	139.4	59,438.5	137.9	64,416.5	149.4	4,978.1	5,878.7	13.6	10.0%
軽油(ℓ)	26,528.2	68.4	19,666.2	50.7	21,972.2	56.7	19,469.4	50.2	△ 2,502.8	△ 7,058.8	△ 18.2	-26.6%
事務用紙(枚)	6,040,945.0		5,783,938.0		5,974,325.0		6,568,945.0		594,620.0	528,000.0		
ごみ排出量(kg)	6,034.5		8,162.3		16,338.5		8,132.4		△ 8,206.1	2,098.0		
水道(m³)	97,330.8		91,968.0		96,326.0		82,450.8		△ 13,875.2	△ 14,880.0		
CO2排出量合計		2,249.2		2,205.7		2,230.2		2,277.8	47.7		28.6	1.3%

平成27年市役所地球温暖化対策実行計画 外部評価シート【平成27年1月～12月】

1 エネルギー等使用状況

3 研修実施状況

■事務用紙
基準年比で約528,000枚の増、H26実績からも約600,000枚の増。増加した要因として新規事業やイベントの増加、各種計画の策定・見直し、工事仕様書、チラシの作成、紙ベースでの文書保存等多々あるが、日頃の業務において職員一人ひとりが事務用紙の効率的かつ必要最低限の使用となるよう心がけるとともに、ペーパーレス化を図ることができるといったような方策を検討していく必要がある。

■可燃ごみ
基準年比で約2,000kgの増であるが、H26実績より約8,000kgの減。H26実績からは、リサイクル可能な紙等をごみにしない心掛けなどにより、減量したと考えられるが、基準年比からは増加しているため、引き続きリサイクルに努めていく必要がある。

■公用車燃料
①ガソリン:基準年比で約6,000ℓの増、H26実績からも約5,000ℓの増。
②軽油:基準年比で約7,000ℓの減、H26実績からも約2,500ℓの減。
さらにエコドライブや相乗り、公共交通機関利用の徹底等により、少しでも公用車燃料の削減に繋がるような取組が必要である。

■電気
基準年比で約9,000kWhの増、H26実績からも約145,000kWhの増。再度、日常業務の中で節電意識を引き締める必要がある。また、公共施設の新築・増改築の際には、太陽光発電設備等の創エネ設備を導入することが不可欠となっている。

■ガス
基準年比で約11,000m³の増、H26実績からも約8,800m³の増。小・中学校でのガス空調機導入が主因である。

■灯油
基準年比約17,000ℓの減、H26実績からも約24,000ℓの減。小・中学校でのガス空調機導入により減になったものと考えられる。

■水道
基準年比では約15,000m³の減、H26実績からも約14,000m³の減。

■推進リーダーおよびエコスタイル推進員向け研修【平成27年5月28日(木)】
【テーマ】やりたくなる温暖化対策に向けて
【講師】滋賀大学 経済学部 教授 中野 桂 氏
※例えば車の燃費について、メーターにより燃費が向上すると嬉しくなるという例を取り上げながら、成果の見える化等について各所属における推進リーダーおよび推進員向け研修会を開催した。

■全職員向け研修【平成27年12月8日(火)】
【テーマ】人口減少社会における持続可能なまちづくり
【講師】滋賀県立大学 地域共生センター 准教授 鶴飼 修 氏
【研修を受けての感想等】
・1人1人が温暖化への理解を深め意識を強めることが大切だと思いました。
・節電やエコドライブなど、日頃から自分ができることに意識的に取り組みたいと思った。
・節電等で意識改革ができる。

外部評価(講評)

■事務用紙
チラシの作成枚数が多いように感じるため、必要部数の作成に努めてください。

■電気
東日本大震災以降、節電が叫ばれている中、電気使用量が増加していることは問題であるため、節電に努めていただきたい。

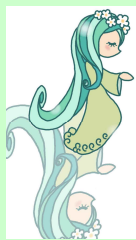
■ガス
空調機を切り替えたことで、CO2排出量が増えたというのは分かりません。熱効率もガスの方が良いので、本来なら減るはずですが、増えたと言うのは、灯油で暖房していなかった部屋にも暖房がついたなど原因があるはずなので、きちんと原因を分析してください。

■環境教育
学校として、子どもに対する教育は出来ていると思うが、もっと地域を巻き込むことが大切である。

2 園・学校における環境教育取組例

【幼稚園・保育園】
・菜園活動や食育活動(米原中保育園)
・園庭の斜面を意図的に取り入れた活動(いぶき認定こども園)
・身近な自然(三島池)に触れる機会(山東幼稚園)
・きれいきれいタイム(園舎内外の清掃を実施)(おうみ認定こども園)

【小学校・中学校】
・森林学習(大原小学校)
・近隣河川での水質調査や水生生物調査(坂田小学校)
・ピワマスふ化実験(息長小学校)
・山室湿原での観察会、ホタル学習(山東小学校)
・三島池の保全活動(大東中学校)
・伊吹山登山において地域人材の指導のもと外来植物の除去作業(伊吹山中学校)



平成 29(2017)年2月

米原市経済環境部環境保全課(伊吹庁舎)
〒521-0392 滋賀県米原市春照 490 番地1
TEL0749-58-2230 FAX0749-58-1630
E-mail:kankyohozen@city.maibara.lg.jp